

※下記内容はすべて例ですので、記載項目などが自社の事業内容とは必ずしも合致しない場合があります。

様式第1号

## 生産性向上枠

スタートアップ・生産性向上支援補助金 申請書

申請日 (2022/8/1~  
2022/9/5、17時必着)

2022年 ○月 ○日

一般財団法人旭川産業創造プラザ  
理事長 新谷 龍一郎 様

法人の場合は、法人登記地、個人の場合は納税地で記載（押印不要）

(申請者)

所在地 旭川市〇〇条〇丁目〇ー〇  
企業等名称 産プラ創造株式会社  
代表者職氏名 代表取締役 産プラ ツクル

スタートアップ・生産性向上支援補助金を希望するため、次のとおり関係書類を添えて申請します。

様式第1号-1「補助事業計画名(30文字以内)」と名称を統一し記載。  
※採択時に公表します

1 補助事業計画名 ○〇〇に対応する新型〇〇〇設備導入による生産性向上

2 補助事業実施期間 着手 2022年 ○月 ○日  
完了 2022年 ○月 ○日

補助対象期間は、2022年4月1日から2022年12月31日までになり、同期間に発注・納入・検収・支払等のすべての手続きが完了する補助対象経費が対象となります。

3 総事業費 ○,〇〇〇,〇〇〇円

4 希望補助額 ○,〇〇〇,000円 (千円未満切り捨て)

補助率 4/5 (上限 200万円)  
(1,000円未満切り捨て)

5 添付書類

- (1)
- (2) 申請者の状況に合わせた添付書類を記載してください。(詳細は、「提出書類一覧」  
[https://www.arc-net.or.jp/variousupport/startup\\_03/#15](https://www.arc-net.or.jp/variousupport/startup_03/#15) をご確認ください)
- (3)

### 個人事業主の場合

- (1) 事業計画書 (様式第1号-1)
- (2) その他参考資料※1
- (3) 誓約・確認書 (様式第9号)
- (4) 市税の納税証明書 (完納)
- (5) 確定申告書第一表
- (6) 決算書 (青色又は白色)

### 法人の場合

- (1) 事業計画書 (様式第1号-1)
- (2) その他参考資料※1
- (3) 誓約・確認書 (様式第9号)
- (4) 市税の納税証明書 (完納)
- (5) 確定申告書別表一
- (6) 決算書
- (7) 法人事業概況説明書
- (8) 履歴事項全部証明書

※1: カタログ・見積書などあれば添付

申請日 (2022/8/1~  
2022/9/5、17時必着)

2022年〇月 〇日

日本標準産業分類(中分類)を記載  
<https://www.e-stat.go.jp/classifications/terms/10>

事業計画書

1回以上の確定申告を済ませていること。  
※法人成りしたばかりでまだ確定申告を迎えていない法人の場合は、個人事業時の確定申告を持って代えることができます。

■申請者

商号又は名称	産プラ創造株式会社		
業種	金属製品製造業	創業・設立	〇〇〇年〇〇月〇〇日
資本金 (法人の場合)	〇,〇〇〇千円	従業員数	〇〇名
連絡者	所属 総務部	職氏名	部長 産プラ タクミ
連絡先	T E L 0000-00-0000	F A X	0000-00-0000
U R L	https://〇〇〇〇.〇〇.〇〇		
E - mail	〇〇〇〇@〇〇.〇〇		

申請者概要 (※法人のみ)

株主及び出資者				役員一覧表			
主な株主又は出資者		大企業の確認及び出資比率		役職名	氏名	大企業の確認及び会社名	
①	産プラ ツクル	<input type="checkbox"/>	〇%	代表取締役	産プラ ツクル	<input type="checkbox"/>	
②	産プラ タクミ	<input type="checkbox"/>	〇%	取締役専務	産プラ タクミ	<input type="checkbox"/>	
③		<input type="checkbox"/>	%			<input type="checkbox"/>	
④		<input type="checkbox"/>	%			<input type="checkbox"/>	
⑤		<input type="checkbox"/>	%			<input type="checkbox"/>	

※枠内に収まらない場合は別紙で提出して下さい。

■事業計画

様式第1号「1. 補助事業計画名」と名称を統一し記載。  
30文字以内を厳守の事。

補助事業計画名 (30文字以内) ※採択時に公表します	〇〇〇に対応する最新型〇〇〇設備導入による生産性向上
補助事業概要 (100文字以内) ※採択時に公表します	既存の生産設備ではボトルネックとなる〇〇加工を〇〇〇機導入により〇〇〇の加工精度向上、加工時間短縮を図り生産性を向上する。さらに短納期対応も可能となり、新規顧客獲得に向け活動を行う計画である。 100文字以内を厳守の事
補助事業区分 (どれか一つ選択)	<input type="checkbox"/> スタートアップ枠 <input checked="" type="checkbox"/> 生産性向上枠 補助対象期間は、2022年4月1日から2022年12月31日までの間で記載。
補助事業実施期間	2022年〇〇月〇〇日から 2022年〇〇月〇〇日まで

会社概要及び  
補助事業目的

### (1) 事業概要

当社は〇〇年の創業以来、〇〇材全般及び機械設備加工・製作・据付工事まで一貫した事業を行っている。近年は〇〇の〇〇工事・製作、〇〇材金物の製作等も手掛けている。〇〇年には工場を増築に伴い、〇〇マシン、〇〇設備を導入し、〇〇製作に特化した会社として、〇〇現場に納品している。〇〇年度は売上高 〇〇,〇〇〇 千円、従業員は〇〇名在籍し、〇〇工事関連では〇〇随一の企業に成長した。

※自社の概要や、経営方針等記載。

### (2) 当社の経営状況

#### ①売上げの推移

	2019 年度	2020 年度	2021 年度
〇〇売上	〇〇〇円	〇〇〇円	〇〇〇円
〇〇売上	△△△円	△△△円	△△△円

#### ②主要取引先

〇〇建設（株）：〇%、（株）〇〇〇：〇%、市内〇〇関連：〇%、その他道内外：〇%

※主要取引先と顧客ニーズ（納期短縮、現場作業の簡便化など・・・）について記載。

### (3) 当社の強み

- ① 技術力を評価され、数々の賞受賞実績がある事。
- ② 〇〇用の生産ラインを有しており、安定的に供給が可能。
- ③ 〇〇材を仕入れるルートを確認していること。

※設備、技術人材、取引実績など御社の強みを可能な限り客観的に記載。

### (4) 競合他社について

当社と類似する〇〇を製造する〇〇は、市内に（株）〇〇など数社あるが、当社が得意とする〇〇を製造できる所は無く、優位性は極めて高い。

※道内外の競合他社や競合に対する優位性について記載。

### (5) 当社の課題

- ① 依頼を受けても生産能力が無く、機会損失している。  
昨年も当社繁忙期〇〇月に受注が多数発生し、〇〇件、〇〇円が生産能力により損失した。
- ② 職人が高齢化しているため、技術の承継がうまくいっていない。
- ② 〇〇工程がボトルネックとなり、次工程に手待ち時間が発生している。

※文章による説明に加えて、以下のような工程フローや写真を添付した上で、作業工程のボトルネックとなっている部分などについて記載。



(6) 顧客ニーズと市場の動向

当社が得意とする〇〇技術を活用した〇〇建築の日本国内の市場は〇〇円規模であり、〇〇〇の調べでは、〇〇〇技術の応用は、〇〇〇の耐久性を高めるものであり、近年さらに需要が期待されている。その一方、手作業で〇〇加工する場合は、職人の習熟が必須であり、職人の育成に手間がかかる為、需要に供給が追いついていない状態である。このようなことから、当社では、〇〇加工を自動化、効率化する〇〇設備を導入することで、顧客の需要に答えるとともに、市場の拡大を図る為最新型〇〇設備を導入する。



※市場ニーズを踏まえたターゲットの明確性及び市場参入の見込みがあるか。また、競争力があり、他の取組に埋没せず、売上等の向上に寄与し申請者の成長を促進することが期待できるかなどについて記載。

補助事業の  
具体的内容

(1) 導入する設備

〇〇社製〇〇	型式 123-456-789
	主要スペック ・縦〇〇 横〇〇 高さ ・最大〇〇回転 ・〇〇〇/時間 ・〇〇〇における〇〇〇が可能 ・直感的操作可能な〇〇パネル搭載

生産性向上新旧対比

	導入前	導入後	効果
〇〇作業	〇〇回 / 時間	〇〇〇回 / 時間	1時間あたり〇〇回分生産回数 UP
××作業	××個 / 時間	××個 / 時間	1時間あたり××個生産量 UP
△△作業	・ ・	・ ・	・ ・



補助事業実施によって期待される効果	<p>(1) 地域への波及効果</p> <p>本事業の取組みを実施することにより、〇〇〇分野において、〇〇〇に貢献することが可能であり、〇〇を導入した施設が増えることで、〇〇の地域への改善が見込める。</p> <p>※本事業を行うことにより、売上げ、取引などにどのような効果があるか、可能な限り具体的にお書きください。その際、事業を行うことがその効果に結びつく理由や、社会情勢への適応性、変化する社会情勢（感染症対策や働き方改革）への対応が行われているか。また、補助事業実施によってその取組みがより促進されることが期待できるか。などについて記載。</p>
-------------------	---

## ■事業費

### (1) 経費明細書

(単位：円)

経費区分 (対象経費の区分)	(A) 事業に要する経費 (税込みの額)	(B) 補助対象経費 (税抜きの額)	(E) 積算基礎 ((A) 事業に要する経費の内訳 (機械装置名、単価×数量等))
設備費	2,750,000円	2,500,000円	ARC-123-456最新型〇〇〇 2,500,000円(税抜)×1
合計額	2,750,000円	2,500,000円	

### (2) 資金調達内訳

(単位：円)

<補助事業全体に要する経費調達一覧>

区分	事業に要する経費	資金の調達先
自己資金	750,000	
補助申請額	2,000,000	
借入金		
その他		
合計額	2,750,000	

<補助を受けるまでの資金>

区分	補助申請額内訳	資金の調達先
自己資金	500,000	
借入金	1,500,000	〇〇信金
その他		
補助申請額	2,000,000	

## ■収益計画

### (1) 今後3年間の収益計画

(単位：千円)

項目	直近の 決算年度 2022年3月	1年後 2023年3月	2年後 2024年3月	3年後 2025年3月
売上高(a)	100,000	120,000	130,000	150,000
売上原価(b)	30,000	45,000	45,000	50,000

売上総利益(c) = (a)-(b)	70,000	75,000	85,000	100,000
経費 (d) = (e)+(f)	30,000	30,000	36,000	42,000
人件費 (e)	20,000	20,000	25,000	30,000
その他の経費 (f)	10,000	10,000	11,000	12,000
営業利益(g) = (c)-(d)	40,000	45,000	49,000	58,000

(2) 収益計画の算出根拠

(1) 売上予測

今まで、お断りしていた注文（概算年〇件）と、営業エリアの拡大により年間〇〇円程度の売上増加を見込む。

さらに、コロナ禍収束後にはそれぞれ〇〇円、〇〇円の売上増加が期待できる。

	2023	2024	2025
〇〇売上	〇〇円	〇〇円	〇〇円
〇〇売上	〇〇円	〇〇円	〇〇円
合計	〇〇円	〇〇円	〇〇円

【積算根拠】

〇〇円 × 〇〇個/月 × 12か月 = 〇〇円←a

〇〇円 × 〇〇個/月 × 12か月 = 〇〇円←b

a + b = 〇〇〇〇円

新事業の実施に当たり、新たに約〇〇円の初期投資（補助対象経費含む）が発生するが、コロナ禍収束の好材料を省いた状態で、〇〇年程度で投資を回収する計画である。

新しい取組みを通じ、収益性を改善させる。

(2) 新規雇用

〇〇年に、新規で〇〇人雇用予定。

■補助金等採択実績（過去3年間）

年度	補助事業名	事業計画名	補助金額
2020年度	〇〇〇補助金	〇〇材展示会出展事業	000,000円

※ 様式1号-1事業計画書の記入欄は適宜調整し、8ページ以内で作成してください。

※ 必要な参考資料等を添付してください

※ 説明資料等や図面等があれば添付してください。

※ 提出された申請書類等は返却いたしませんので必ず控えを保管ください。

